

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 体育運動方法Ⅱ (英文名) Methods of Physical EducationⅡ	2単位	(ふりがな) おかだ さだお 担当者 岡田 定雄 e-mail okadas@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要: 小学校新学習指導要領に準じて「基本の運動」「ゲーム」という新しい運動領域が現れ、構成された。体育観の変化に基づき子どもたちに運動の楽しさ喜びを考えて、遊び方、ゲーム、ルールやマナーは、楽しい運動を支える重要な柱である。指導内容を明確にして教材づくりに図る。		
教科書: 小学校新学習指導要領		
参考図書: 1、「楽しい体育」実践講座 2、小学校指導書(体育編)		
評価法: 授業中資料を配布、レポートによって評価、実技試験		
具体的評価方法等: 授業の出席、態度も重視する。		

【授業計画】

回数	講義テーマと概要
第1回	○基本の運動の領域、内容、構成、教材づくりの作業
第2回 ～ 第3回	1、基本の運動について 低学年及び中学年の子どもにとっては体の基本的な動きを身に付け、各種の運動の基礎を培うための重要な運動である。
第4回 ～ 第5回	2、歩く走る、跳の運動 ① リズムに合わせて歩く ②いろいろな歩きの工夫 ③いろいろなかつこうで歩く ④全力で走る ⑤ スタートを変えて練習する ⑥いろいろな走り方 ⑦リズムカルに跳ぶ ⑧安全に跳びおる
第6回	3、力試しの運動 A、自己試しの運動 B、相手との力試し C、柔らかさを試し、自分のねらいに向かって思いきり挑戦する。
第7回	4、用具を使つての運動 ①なわとび ②ボールを使った遊び方 ③リングを使った遊び方
第8回 ～ 第13回	5、ゲームの運動 ・遊び ・軽スポーツ ・スポーツ(プレイ) ・球技とは ゲームの楽しみ方には、規則を工夫してゲームをすることと、技能を身に付けてゲームを楽しむ、子どもにとってその心身の発達の状況から、特定の技能を身に付けて集団的技能を生かし、公正に行動する態度、勝敗の結果をめぐって正しい態度や行動(ルール)のゲームが一層楽しくして学習指導の中心とする。 競技の方法、個人のプレー、集団のプレー、試合のルール、審判について指導に図る。
第14回 ～ 第19回	○表現運動 身体の動きによって、個人または集団で思想・感情・情緒を表現するものである。 1、表現の特徴 1) 全身的な運動、2)リズム感覚、3)美しい表現、4)表現力を豊かに 5)喜びや鑑賞の楽しみ方を経験することができる。 2、よく動く体を作る 1) 歩く、2)走る、3)とぶ、4)緊張と解緊、5)自由に「力を入れたり抜いたり」することができる。 3、表現の手順 ①題材 ②構想 ③役割 ④動きの動作 ⑤全体のまとめ方 ⑥場の使い方 ⑦ 表現(踊り)の練習をくり返し行いスムーズに踊れるようにする ⑧発表会
第20回 ～ 第23回	○各国のフォークダンスと日本各地の民謡が踊れるようにする フォークダンスや日本の「おど里」は古くから各民族により踊り伝えられた郷土色豊かな踊りで、その国特有の風俗や習慣、また土地の生活から自然に生まれたリズムを身に付けて研究する。 ①隊形 ②基本ステップ ③組み方と代表的なダンスの学習
第24回	※レポート評価点
第25回	※総合的実技試験